

学校だより 朝日丘

令和7年2月21日

氷見市立朝日丘小学校
氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

遠隔交流学習と遠隔合同授業

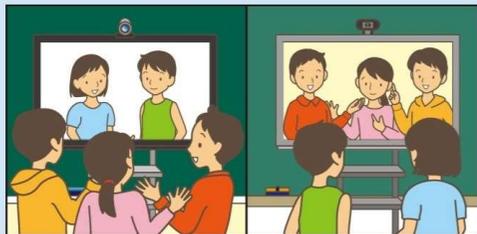
ICTを活用することで、遠隔教育を行うことができます。文部科学省では、遠隔教育を、目的や接続先等を基に、12パターンに分類しています。その中で、今年度行った遠隔交流学習と遠隔合同授業について紹介します。

A 多様な人々とのつながりを実現する遠隔教育

他の学校とつないで合同で授業を行うことで、協働して学習に取り組んだり、多様な意見や考えに触れたりする機会の充実を図ります。

A1 遠隔交流学習

離れた学校とつなぎ児童生徒同士が交流し、互いの特徴や共通点、相違点などを知り合う。



A2 遠隔合同授業

他校の教室とつないで、継続的に合同で授業を行うことで、多様な意見にふれたり、コミュニケーション力を培ったりする機会を創出する。



<文部科学省「遠隔教育システム活用ガイドブック」より>

SDGs-ESD富山シンポジウム（遠隔交流学習）

遠隔交流学習とは、離れた学校の児童同士が交流し、互いの特徴等を知り合うものです。

2月13日に、SDGs-ESD富山シンポジウム（県内のユネスコスクールの意見交換会）が行われ、本校からは4年生がオンラインで参加しました。同じグループの参加校の実践報告動画を事前に見ておき、互いに質問し合いました。他校との交流を通して、様々な実践について知ることができ、とてもよい機会となりました。



外国語科の学習（遠隔合同授業）

遠隔合同授業は、他校の教室とつないで合同で授業を行うことで、多様な意見に触れたり、コミュニケーション能力を培ったりすることを目指すものです。

2月19日の6年生の外国語科で、比美乃江小学校の6年生との遠隔合同授業が行われました。それぞれの学校から将来の夢について「I want to be an architect.」「It's cool」等と発表し合いました。普段の発表よりも、はっきりとした大きな声を出そうと頑張っていました。これも、遠隔合同授業の効果の一つです。



ホームページに掲載した写真から

